

III. 資料

work
life
balance
innovation

男女共同参画基本計画



2010年6月

国立大学法人山形大学

はじめに

平成11年に、「男女共同参画社会基本法」(平成11年法律第78号)が制定され、それに基づき、平成12年に、「男女共同参画基本計画」が閣議決定された。「基本法」は、男女共同参画社会の実現を、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付けている。それを受けて、政府の男女共同参画推進本部は、平成15年に、国の審議会等における女性委員の登用について、平成17年度末までのできるだけ早い時期に30%以上とすることを目指すと共に、「社会のあらゆる分野において2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるように期待する」ことを決定した。

平成17年には、「男女共同参画基本計画」(第2次)が閣議決定され、新たな取組を必要とする12の重点分野を掲げて、平成32年度までを見通した施策の基本的方向と平成22年度までに実施する具体的施策の内容が提示された。

科学技術の分野は、この重点12分野の一つとして位置付けられ、これを受けて、平成18年に、「第3期科学技術基本計画」が閣議決定された。日本の科学技術の将来や国際競争力の維持・強化は、多様多才な個々人の意欲と能力にかかっているという認識に立脚して、「女性研究者の活躍促進」のために、女性研究者の採用割合を自然科学系全体として25%(理学系20%、工学系15%、農学系30%、保健系30%)とする数値目標を設定した。

さらに、平成20年に内閣府の男女共同参画推進本部は、女性の参画が進んでいない分野として医師、公務員と並んで研究者に焦点を当て、「女性の参加加速プログラム」を策定し、これらの分野について重点的な取組として推進することを決定した。

我が国の女性研究者比率は13.0%(平成20年3月)で、先進36カ国中最低の数値を示している。日本学術会議の調査によれば、学術分野全体の女性比率が低いだけでなく、領域や職階による偏差が著しいこと、女性研究者の比率を向上させた諸外国の例をみると、積極的改善措置(ポジティブ・アクション)が非常に有効に機能していること、教育・研究活動と育児との両立支援体制、意識改革が重要であること等が指摘されている。

かくして、各大学において、学術分野に特徴的な現状・課題・阻害要因等を考慮しつつ、男女共同参画を進めることが強く求められることとなり、本学においても、そのような社会的要求に積極的に対応することが急務となっている。

山形大学の現状をみると、女性教員の比率13.1%(平成21年5月1日現在)は、国立の医科系学部を有する中規模総合大学25大学の平均値(13.8%)とほぼ同水準にあるが、分野によっては、同規模大学の平均値と比較してかなり低い数値に止まっている。また、2010年までに国立大学の女性教員比率を20%とした国立大学協会の示した数値目標にはほど遠い状況にある。

女性教員の比率を引き上げることは、女子学生の比率が年々増加している状況にかんがみて、山形大学の将来の教育にとって重要な課題となるばかりでなく、大学のアクティビティーの基本は多様性(多様な人材の多様な能力の活用)にあることに照らせば、山形大学の研究の活性化を持続していくためにも重要な問題であると考えられる。このような問題は、施策の成果が現れるまでに時間を要するものであることから、早急に積極的な取組に着手し、種々の施策を確実に推進していくことが必要である。

一方、教育・研究活動等を支える職員構成をみると、平成21年5月1日現在で、1,035名中、女性職員比率は61.3%で、その多くを占めているのは看護職等の医療系で働く女性である。医療系を除く事務・技術技能系等の女性比率は全体で26.9%となり、係長以上の職では14.6%となっている。また、41歳以上の女性職員比率が17.7%に対し、40歳以下の女性職員比率が39.7%であることは、男女雇用機会均等法の制定(昭和60年)、改正男女雇用機会均等法の施行(平成19年)以後の若い世代では、応募・採用段階での格差がなくなってきたことを示しているといえる。今後の課題としては、ワークライフバランスの実現と管理職への登用に向けた女性職員の人材育成が重要になってくる。

山形大学は、男女共同参画の推進が今後の大学の発展にとって不可欠であるという認識に立ち、多様性の受容と尊重(多様な人材の潜在能力を活用する経営)、ライフステージに応じた制度の整備(ワークライフバランス)を目指し、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる大学作りを推進することが重要であると考え、平成21年1月に「山形大学男女共同参画推進宣言」を発表した。また、「平成21年度文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業」の採択を受け、「山形ワークライフバランス・イノベーション」を積極的に進めているところである。現状においては、山形大学教職員に対する「男女共同参画に係るアンケート結果」(平成22年3月)からみて、家事・育児・介護等の負担は依然として女性の側に大きく偏重しており、それらを支えるべき様々な環境も未だ不十分であることが読み取れる。

本基本計画は、高等教育・学術研究の機関としての山形大学が、男女平等という社会的価値の推進者としての学術的・社会的な役割と責任を果たすために、全学的な取組として策定するものである。また、これは、本学における男女共同参画推進の目的、方針、施策、推進体制等についての基本的事項を明示し、今後、大学及び各部局が一体となって具体的な取組を計画的に推進する基盤となるものである。

山形大学男女共同参画基本計画

I. 目的

山形大学は、「男女共同参画社会基本法」(平成 11 年 6 月 23 日法律第 78 号)の理念に基づき、男女共同参画社会実現のために大学が担うべき役割と責任を自覚し、「山形大学男女共同参画推進宣言」(平成 21 年 1 月 23 日)を策定した。本学の学生及び教職員が性別にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現することを目指し、具体的な施策の推進を図っていくため、ここに山形大学男女共同参画基本計画(以下「基本計画」という。)を定める。

II. 基本方針

目的の達成に向けて、本学の基本方針を次のとおり定める。

1. 教職員(教員及び職員)等の男女機会均等の実現・格差の是正
2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り
3. 男女共同参画に関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備
4. 男女共同参画への意識改革の促進
5. 女性研究者(教員・後期博士課程学生・ポストドクター)の裾野拡大
6. 男女共同参画推進のための教育・研究の充実
7. 男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供
8. 男女共同参画に取り組む地域社会等との連携

III. 具体的施策(行動計画)

IIの基本方針に基づく具体的な取組として、以下の行動計画を掲げる。

1. 教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正

1) 女性教員比率の向上

- ・雇用機会均等法によると女性の割合が4割を下回っている場合、男女格差が存在していると判断される。本学においても女性教員比率を引き上げるとともに、格差の是正に努める。
- ・女性教員の採用比率を、当面、全体として20%('国立大学協会'の提言)以上とすることを目標とする。
- ・平成25年度までに、女性教員の比率を現在の13.1%(平成 21 年度)から15%まで引き上げる。将来的には、女性教員の比率を25%まで引き上げる。
- ・上記の目標を達成するため、必要な改善措置等を男女共同参画推進室を中心に各学部等においても具体的に検討し、その達成状況を毎年点検する。

2) 大学運営における女性参画の拡大

- ・女性職員の人材育成のため、積極的な方策を推進する。
- ・女性教職員の管理職比率の向上のため、登用等を積極的に推進する。

3) 男女格差是正のためのチェック機能の導入

- ・教職員の採用や昇進において、積極的な改善策がとられているか、また、業績評価において、性別による差別等がないかを定期的に点検する。

4) キャリアアップ支援策の推進

- ・メンター制度を構築し、助教・助手等の女性教員や博士課程の女性大学院生(ポストドクターを含む)が抱える問題に助言するシステムを整備する。
- ・大学内外の研修については、女性教職員がその機会を妨げられることのないように支援する。

2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り

A 研究環境

1) ユビキタス・ワーキングを可能にする環境の整備

- ・自宅等のパソコンから学内LANを利用し、大学外にいても研究や業務が可能となるユビキタス・ワーキング・システム導入の可能性を探り、順次、その環境を整備する。

2) 巡回相談・来室相談の実施

- ・女性研究者が抱える問題を早期に発見して対応すべく、定期的な巡回相談を行う。また、すべての教職員からの相談も随時受け付け、当該部局と連携し協力して問題の解決に当たる。

3) 研究継続支援員の配置

- ・育児・介護中の研究者が研究を継続できるよう、適切な「研究継続支援員」を配置するなどの支援を行う。

4)学会出張時の支援

- ・国内外の学会参加を、育児・介護を理由に断念することがないように、地域の保育・介護支援施設とも連携して支援する。

B 就労環境

1)保育制度の充実

- ・各キャンパスの実情を踏まえ、そのニーズを把握し、キャンパスに合った保育サービスを提供できるよう具体策を検討し実施する。
- ・現在本学において実施している、学生を活用した「託児サポーター制度」を保育サービスに組み入れる。

2)育児・介護支援

- ・男性教職員を含め、育児・介護休業の取得に支障がないように環境を整備する。
- ・短時間労働制等の積極的な活用を図る。
- ・育児・介護の相談窓口を設置する。

3)就労環境・就労慣行の見直し

- ・ワークライフバランスの観点から、業務の改善に取り組み超過勤務を縮減すると共に各職場の就労慣行を見直し、就労環境の改善に積極的に取り組む。
- ・会議については、就業時間内に終了するよう工夫する。

3.男女共同参画に関する意見・要望等をおくみ上げるシステムの整備

- ・男女共同参画に関する施策の策定や実施について、教職員及び学生からの意見や要望を積極的にくみ上げるシステムを整備する。

4.男女共同参画への意識改革の促進

- ・シンポジウムや啓発セミナー、男女共同参画フェスタ等を定期的で開催する。
- ・女性研究者ネットワークを構築し、定期的な勉強会等を開催する。
- ・学長・学部長と女性研究者との懇談会を定期的で開催する。
- ・ホームページ、男女共同参画ニュースレター、メールマガジン等による学内外への情報発信を強化する。

5.女性研究者の裾野拡大

- ・専門分野を活かした職業に就いている女性卒業生等を招いた講演会や交流会を、各学部等で定期的に開催する。
- ・女子中高生向けのセミナー等を開催する。

6.男女共同参画推進のための教育・研究の充実

- ・「ウーマン・オブ・ヤマガタ」など、ジェンダー学や男女共同参画関連授業、女性のキャリア支援教育科目を拡充する。
- ・ジェンダー学や男女共同参画に関する研究や顕著な業績を表彰制度に組み込む。

7.男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供

- ・男女共同参画への意識と実態の経年変化を捉えることを目的に、毎年、学内教職員を対象にアンケート調査を実施し、その結果をホームページ等で公表する。
- ・男女共同参画に関する本学の基本的なデータを公表する。

8.男女共同参画に取り組む地域社会等との連携

- ・男女共同参画に関して他大学や地域の自治体等とのネットワークを築き、連携を図る。

IV. 推進体制

本基本計画の実施に当たっては、男女共同参画推進委員会の決定の下、全学の推進組織である男女共同参画推進室と各部局の推進組織とが連携協力し、一体となって具体的な事業を推進する。

V. 計画期間の設定等

- 1) 基本計画の計画期間は、平成22年度から平成31年度までの10ヶ年とする。
- 2) 本学及び各部局は、平成22年度から平成31年度までの計画期間の目標と年度ごとの計画を設定し、年度ごとに達成状況を点検評価する。
- 3) 計画策定後、2年目の平成23年度及び6年目の平成27年度には、基本計画の達成状況について中間評価を実施する。

問い合わせ先:山形大学男女共同参画推進室

TEL 023-628-4937/4938/4939 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

2. 平成22年度山形大学男女共同参画推進室の活動記録

- 4月 1日 人事異動による委員、室員の交代
- 4月 6日 第11回室ミーティング
- 4月13日 第4回男女共同参画推進委員会の開催
「山形大学男女共同参画推進に関する規程」の一部改正
「山形大学託児サポーター制度」の一部変更
- 4月14日 基盤教育講義「ジェンダーの社会学」、「ジェンダーの文化人類学」の開講
- 4月20日 瑞樹荘の掃除
「54回国連婦人の地位委員会等について聞く会」出席
- 4月23日 第3次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方についての公聴会出席
- 4月28日 男女共同参画推進委員の新委員（7名）選出
- 5月10日 山形大学男女共同参画フォーラム～女性研究者にとって魅力ある工学部とは～の開催
- 5月11日 ホームページリニューアル公開
- 5月28日 新託児ルームの見学・説明会の開催
- 5月31日 第12回室ミーティング
- 6月 1日 長崎大学両立支援部門長ら来室
- 6月 3日 託児17:00～18:30
- 6月10日 平成21年度教員公募への各学部等における応募状況調査の実施
- 6月14日 ハラスメント講習会出席
- 6月18日 託児13:00～17:30
- 6月18日 一橋大学 CGraSS 公開レクチャー第11回参加
- 6月19日～2010年度日本女性学会大会参加
- 6月22日 内閣府「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」に出席
- 6月22日～7月5日まで 男女共同参画フェスタの開催
- 6月23日 男女共同参画フェスタ公開授業「映画で見る性の多様性」「映画を通して考える『私の身体は誰のもの?』」
- 6月24日～25日 国立女性教育会館にて「大学・研究機関における男女共同参画の推進研修」参加
- 6月24日 「国立大学法人山形大学男女共同参画基本計画」リーフレット発行
託児15:00～18:00
- 7月 1日 平成22年度託児サポーター養成講座についての説明会
- 7月 3日 男女共同参画カフェ「映画を通して考える『お化けの世界の女と男』」の開催

- 7月 5日 女性研究者のエンパワーメントと新領域創世に向けたワークショップ参加
- 7月 6日 JST で打ち合わせ
託児 13:00～18:00
- 7月 7日 山形大学男女共同参画推進室ニュースレター（第3号）の発行
- 7月 8日 人文学部における「学長・学部長との教職員との勉強会」の開催
託児 14:00～18:00
- 7月 9日 理学部・基盤教育院における学長、学部長との懇談会の開催
- 7月12日 託児 13:00～18:00
- 7月16日 第1回山形WLBイノベーション・アドバイザリーボードの開催
- 7月20日 第13回室ミーティング
- 7月26日 第14回室ミーティング
- 7月28日 第5回男女共同参画推進委員会の開催
託児 13:00～18:00
- 7月29日 岩手大学男女共同参画推進・キックオフ・シンポジウムにおいて山形大学の取組を紹介
託児 13:30～16:30
- 7月30日 託児 13:00～17:00
- 8月 2日 医学部 学長・学部長と教職員との懇談会
- 8月 3日 JST 監査
地域教育文化学部 学長・学部長との懇談会
託児 13:00～18:00
- 8月 4日 託児 13:15～16:30
- 8月 6日 託児 13:00～17:30
- 8月 9日 農学部 学長・学部長との懇談会
託児 13:00～18:00
- 8月18日 託児 13:00～18:00
- 8月19日 第15回室ミーティング
- 8月23日 託児 13:00～18:00
- 8月24日 山形市男女共同参画センター ファーラ女性学講座での講演
- 8月25日 「国立大学における男女共同参画の推進状況に関する調査」の送付
- 8月27日～ NWE Cフォーラムワークショップでの発表
- 8月31日 山形市男女共同参画センター ファーラ女性学講座での講演
- 9月 3日 国際ジェンダー学会にて参加・発表
- 9月 7日 女性研究者の裾野拡大のための公開講座及びパネルディスカッション
(理学部)
- 9月10日 山形市男女共同参画センター ファーラ女性学講座での講演

- 9月11日～日本ジェンダー学会 第14回大会参加
- 9月13日～「杜の都ジャンプアップ事業 for2013」シンポジウム参加
「女性研究者養成システム改革加速」事業等に関する調査
託児サポーター研修の実施 計26時間（実習5時間を含む）
託児13：15～17：30
- 9月23日 「ICT分野で国際的に活躍できる女性人材の育成を考える」シンポジウム参加
- 9月29日 山形大学託児サポーター認定書授与式
- 9月30日 UC バークレーにて情報収集、キャロライン教授、ステイシー教授との打ち合わせとアドバイス
託児13：00～18：00
- 10月 1日 託児13：00～17：30
- 10月 4日～男女共同参画学協会シンポジウム「未来を築く女性研究者の飛躍に向けて」参加、パネルディスカッション発表
託児13：00～18：00
- 10月 7日 託児14：00～18：00
- 10月12日 加速ワーキンググループ打ち合わせ
基盤教育講座 「ウーマン・オブ・ヤマガタ」の開講
山形大学男女共同参画推進室ニューズレター（第4号）の発行
- 10月15日 男女共同参画に係るアンケートの実施
- 10月17日 チェリア・フェスティバル山形2010での展示参加
- 10月18日 託児13：00～18：00
- 10月20日 託児13：00～18：00
- 10月21日 第16回室ミーティング
- 10月25日 英語版ホームページの開設
- 11月 2日 女性研究者裾野拡大セミナー開催 人文学部OGが語る日本近代文学研究
- 11月 5日 託児13：00～18：00
- 11月 6日 大学院生に聞いてみよう！大学での研究生活ってどんな感じ？—女性研究者裾野拡大セミナー in 農学部
- 11月 8日 男女いきいき・子育て応援宣言企業総合支援事業・奨励金の交付の申請
託児13：00～15：00
- 11月 9日 第17回室ミーティング
託児13：00～14：30
- 11月10日 託児13：00～15：00
- 11月12日 山形大学男女共同参画国際シンポジウムの開催
平成22年度山形市地域子育て創生事業費補助金の交付の申請

- 1 1月15日 託児13:00~17:30
- 1 1月16日 託児13:00~15:00
- 1 1月17日 託児13:00~15:00
- 1 1月19日 女性研究者裾野拡大セミナー開催 次世代を担う女性研究者による未来予想図
- 1 1月29日 男女いきいき・子育て応援宣言企業総合支援事業取組状況報告書の提出
- 1 2月 1日 「研究継続支援員制度」平成22年度利用者募集開始
- 1 2月 8日 第18回室ミーティング
- 1 2月10日 シンポジウム「地域活性化と男女共同参画の推進」参加
平成22年度実施計画書の提出
- 1 2月13日 シンポジウム「理工系における男女共同参画」参加
- 1 2月19日 シンポジウム「男女共同参画政策と大学の使命」参加
- 1 2月20日 「研究継続支援員制度」平成22年度利用者再募集開始
託児13:00~16:00
- 1 2月21日 第6回男女共同参画推進委員会の開催
- 1 2月24日 託児13:00~17:00
- 1 2月27日 第1回女性研究者交流会の開催
託児13:00~17:00
- 1月 1日 理学部副学部長交代による男女共同参画推進委員の変更
- 1月 5日 託児13:00~17:00
- 1月11日 託児13:00~14:00
- 1月12日 託児13:00~14:00
- 1月13日 託児13:00~14:00
オクラホマ大学 Dr. Faison, Mr. Hobson とジェンダー関連の本学教員との懇談会
- 1月17日 「山形大学教職員のための出産・子育て・介護に関する制度」のパンフレット及び山形大学男女共同参画推進室ニュースレター（第5号）の発行
- 1月19日 女性研究者裾野拡大セミナー開催 目指せ！理系マドモワゼル！～理系女子力UPセミナー～
- 1月20日 女性研究者等への巡回聞き取り相談事業の開始
託児13:00~14:00
- 1月25日 託児13:00~14:00
- 1月26日 託児13:00~14:30
- 1月28日 「ユビキタス・ワーキング・システム」の利用開始
- 1月29日 病後児病児保育事業事例発表会参加
- 2月 1日 女性研究者支援メンター制度の開始

- 2月 2日～ メンター講習会の開催（4日間）
- 2月17日 託児13:00～14:00
- 2月21日～ 託児サポーター制度 フォローアップ研修の開催（2日間）
- 2月22日 第2回女性研究者交流会の開催
四国女性研究者フォーラム参加
託児13:00～14:00
- 2月23日 託児13:00～14:00
- 2月24日 託児13:00～14:00
- 2月25日 託児13:00～14:00
- 3月 2日 第19回室ミーティング
託児13:00～14:00
- 3月 3日 託児13:00～18:30
- 3月 4日 大型研究資金獲得ためのマネジメントセミナー参加
託児13:00～18:30
- 3月 7日 第2回山形WLBイノベーション・アドバイザリーボードの開催
- 3月 9日 託児13:00～14:00
- 3月10日 「研究継続支援員制度」平成23年度第I期利用者募集締め切り
国際女性の日「100人のマリー・キュリー、女性と科学」参加
託児13:00～14:00
- 3月11日 託児13:00～14:00

3. 男女共同参画推進室ミーティング会議事

第11回ミーティング

日時：2010年4月6日（火）13:00～

場所：第三会議室

出席者：北野、河田、高木、木村、幅崎、坂無、松井、渡邊、大沼、中村、奥山（黒沼代理）

報告事項

- 1 委員会委員、室員のメンバー変更について
- 2 託児サポーター制度について変更事項
- 3 山形ワークライフバランス・イノベーション22年度計画

協議事項

- 1 基本計画の検討
- 2 「山形大学男女共同参画推進に関する規程」の改正について

その他

- 1 報告書（第一部・第二部）について

第12回ミーティング

日時：2010年5月31日（月）16:20～

場所：第三会議室

出席者：北野、高木、河野、木村、幅崎、坂無、松井、黒沼、渡邊、大沼、中村

協議事項

- 1 「男女共同参画基本計画（案）」に対する意見集約結果と修正案

報告事項

- 1 5月10日（月）の工学部男女共同参画フォーラムについて
- 2 小白川・飯田・鶴岡キャンパスでの学長・学部長と女性研究者との懇談会について
- 3 6月22日～7月5日男女共同参画フェスタについて
- 4 ニュースレター第3号（6月末発行予定）について
- 5 7月16日（金）アドバイザー・ボード開催について
- 6 平成22年度託児サポーター養成講座（9月）について

その他

第13回ミーティング

日時：2010年7月20日（火）16:30～

場所：第二会議室

出席者：北野、河田、高木、木村、幅崎、坂無、松井、黒沼、渡邊、大沼、中村

協議事項

- 1 「男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等について
- 2 アドバイザリー・ボード評価結果の公表について
- 3 育児・介護休業制度のパンフレット作成について

報告事項

- 1 小白川・飯田・鶴岡キャンパスでの学長・学部長と女性研究者との懇談会について
- 2 平成22年度基盤教育（後期）「ウーマン・オブ・ヤマガタ」の講師について
- 3 JSTでの情報収集について
- 4 ホームページ・アクセス数について

その他

第14回ミーティング

日時：2010年7月26日（月）16:30～

場所：第三会議室

出席者：北野、河田、高木、河野、木村、幅崎、坂無、黒沼、大沼、中村

協議事項

- 1 「男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等（各部局用）について
- 2 「男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等（全学用）
- 3 アドバイザリー・ボード評価結果について
- 4 第5回男女共同参画推進委員会での報告事項・協議事項について

報告事項

- 1 平成21年度科学技術総合推進費補助金額の確定調査について
8月3日9:00～17:00（役員会議室）

その他

第15回ミーティング

日時：2010年8月19日（木）11:00～

場所：第三会議室

出席者：北野、河田、高木、木村、幅崎、大沼、渡邊、中村

協議事項

- 1 シンポジウムの企画案について
- 2 「女性研究者養成システム改革加速」事業応募の検討について
- 3 病児保育のニーズと可能性について
- 4 合同シンポジウム資料（報告要旨・ポスター9/3提出〆切）について

報告事項

- 1 認可外保育施設設置運営状況の立入調査について
9月14日15:30(瑞樹荘)
- 2 1年次女子学生のライフプランニング・セミナー(9/30)について
- 3 チェリア・フェスティバル山形2010(10/17)での展示参加について

その他

第16回ミーティング

日時:2010年10月21日(木)11:00~

場所:第三会議室

出席者:北野、河田、高木、木村、幅崎、坂無、松井、渡邊、黒沼、大沼、中村

協議事項

- 1 ユビキタス・ワーキング・システム利用規程について
- 2 出産・子育て・介護に関する制度パンフレットについて
- 3 女性研究者支援メンター制度について
- 4 子育て期の学会出張時の保育支援制度について
- 5 育児休業取得者のいる組織へのインセンティブ付与及び育児休業取得男性への補助制度について
・女性研究者の夫が育児休業を取得した場合の支援金の支給について
- 6 育児取得者分の非常勤講師の確保(学部とは別配分)について
- 7 平成23年度予算申請について

報告事項

- 1 国際シンポジウムに向けた進捗状況について

その他

- 1 くるみんマーク:次世代育成支援対策推進法第14条第1項の厚生労働大臣の定める表示(認定マーク)の取得について
「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」の達成状況
- 2 今後の委員会開催予定

第17回ミーティング

日時:2010年11月9日(火)15:00~

場所:第三会議室

出席者:北野、河田、高木、河野、木村、幅崎、坂無、松井、渡邊、黒沼、大沼、中村

協議事項

- 1 国際シンポ参加人数と会場について

- 2 研究継続支援員制度について
- 3 託児サポーター制度の見直し、及び、補正予算確保について
- 4 平成23年度計画概要について
- 5 平成23年度の経費・積算について
- 6 メンター制度ワーキング・グループ(11/30)について
- 7 子育て期の学会出張時等の保育支援制度について
当事者による検討会(11/10)について
- 8 ユビキタス・ワーキング・システムについて
- 9 男女共同参画推進委員の方々への他大学視察・他大学シンポジウムへの参加の呼びかけについて

報告事項

- 1 ライフプランニング・セミナー(10/29)について
- 2 人文学部裾野拡大セミナー(11/2)について
- 3 農学部裾野拡大セミナー(11/6)について

その他

- 1 第6回男女共同参画委員会開催予定
12月21日(火) 16:30～17:30
主な議題 ・各部局における具体的な対応・計画等
・各種支援制度の開始について
- 2 次回の室ミーティング日程伺い

第18回ミーティング

日時：2010年12月8日(水) 13:30～

場所：第三会議室

出席者：北野、河田、高木、河野、木村、幅崎、坂無、松井、大沼、中村

協議事項

- 1 各部局の具体的な対応・計画の集約結果について
- 2 各種女性研究者支援制度について
 - (1) 研究継続支援員制度
 - (2) 保育助成チケット制度
 - (3) メンター制度・メンター講習会
 - (4) ユビキタス・ワーキング・システム
- 3 第6回男女共同参画推進委員会(12/21)の課題について

報告事項

- 1 国際シンポジウム(11/12)について
- 2 裾野拡大セミナーについて

3 女性研究者交流会(12/27)について

その他

- 1 ニュースレター第5号について

第19回ミーティング

日 時：2011年3月2日（水）11:00～

場 所：第三会議室

出席者：北野、高木、河野、木村、幅崎、坂無、松井、渡邊、黒沼、大沼、中村

協議事項

- 1 来年度予算／今年度予算執行状況について
- 2 第2回アドバイザー・ボードについて

報告事項

- 1 平成22年度報告書（第1部・第2部）
- 2 ノートPCの貸し出し
- 3 「ウーマン・オブ・ヤマガタ」小冊子
- 4 「巡回聞き取り相談」
- 5 研究継続支援員制度利用状況
- 6 メンター登録者及び制度利用状況
- 7 ユビキタス・ワーキング・システム利用状況
- 8 博士課程院生・ポスドク対象のキャリアセミナー
- 9 国際シンポジウム報告書＋CD-ROM
- 10 HPの英語版作成とHPリニューアル
- 11 ニュースレター第6号
- 12 託児サポーター更新・フォローアップ研修、託児パンフレット

4. 男女共同参画推進委員会議事

第4回 男女共同参画推進委員会議事

平成22年4月13日（火）

16時～17時

事務局第2会議室（4階）

（医・工・農はテレビ会議）

議 事

I 協議事項

- 1 「山形大学男女共同参画推進に関する規程」の一部改正について （北野） 資料1
- 2 「山形大学男女共同参画基本計画」の策定について （北野） 資料2
- 3 その他

II 報告事項

- 1 男女共同参画推進委員会委員及び男女共同参画推進室員の交替について 資料3
- 2 「平成21年度 山形ワークライフバランス・イノベーション」報告書
及び「ニューズレター」第2号の発行について （北野・坂無）
- 3 「平成22年度山形大学女性研究者支援モデル育成事業」の計画概要について
（北野・幅崎） 資料4
- 4 「山形大学託児サポーター制度」の一部変更について （北野）
- 5 その他

III その他

（配布資料）

- 資料 1 : 「山形大学男女共同参画推進に関する規程」の一部改正（案）
- 資料 2-1 : 山形大学男女共同参画基本計画（案）
- 資料 2-2 : 「平成21年度 男女共同参画に係るアンケート結果」の概要（参考資料）
- 資料 3-1 : 男女共同参画推進委員会委員名簿
- 資料 3-2 : 男女共同参画推進室員名簿
- 資料 4 : 「平成22年度山形大学女性研究者支援モデル育成事業」計画概要

第5回 男女共同参画推進委員会議事

平成22年7月28日（水）

16時30分～17時30分

事務局第1会議室（3階）

（工・農はテレビ会議）

議 事

I 協議事項

- 1 「山形大学男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等について …資料1
- 2 その他

II 報告事項

- 1 男女共同参画推進委員会の新委員について …資料2
- 2 第1回アドバイザー・ボードの概要と評価結果について …資料3
- 3 小白川・飯田・鶴岡キャンパスでの学長・学部長と女性研究者等との懇談会について …資料
- 4 4 女性研究者裾野拡大のためのセミナー等の企画 追加募集について …資料
- 5 5 平成22年度後期基盤教育「ウーマン・オブ・ヤマガタ」について …資料
- 6
- 6 「山形大学託児サポーター養成講座」について …資料7
- 7 「ニューズレター」第3号の発行について
- 8 その他

III その他

- 1 2010年度アンケート調査票検討のお願い

（配布資料）

資料 1-1 : 「山形大学男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等
（全学における対応）

資料 1-2 : 「山形大学男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等
（各部局としての対応）

資料 1-3 : 「山形大学男女共同参画基本計画」

資料 2 : 男女共同参画推進委員会委員名簿

資料 3 : 第1回山形 WLB イノベーション・アドバイザー・ボードの概要と評価結果

資料 4 : 学長・学部長と女性研究者等との懇談会・日程表

資料 5 : 女性研究者裾野拡大のためのセミナー等の企画 追加募集について（照会）

資料 6 : 平成22年度後期基盤教育「ウーマン・オブ・ヤマガタ」について

資料 7 : 山形大学託児サポーター養成講座について

第6回 男女共同参画推進委員会議事

平成22年12月21日(火)

13時～14時

事務局第1会議室（3階）
（医・工・農はテレビ会議）

議 事

I 協議事項

- 1 「山形大学男女共同参画基本計画」に関する各部局の具体的対応・計画等について
…資料1-1、資料1-2
- 2 その他

II 報告事項

- 1 女性研究者支援制度について
 - (1)研究継続支援員制度 …資料2-1
 - (2)ユビキタス・ワーキング・システム …資料2-2
 - (3)メンター制度に向けたメンター講習会 …資料2-3
- 2 女性研究者裾野拡大セミナーについて …資料3
- 3 男女共同参画国際シンポジウムについて …資料4-1、4-2
- 4 その他

III その他

- 1 第1回女性研究者交流会開催について …資料5
- 2 「出産・子育て・介護に関する制度」紹介パンフレットについて …資料6
- 3 その他

(配布資料)

- 資料 1-1 : 「山形大学男女共同参画基本計画」に関する具体的対応・計画等
(各部局としての対応)
- 資料 1-2 : 山形大学男女共同参画基本計画
- 資料 2-1 : 研究継続支援員制度実施要項
- 資料 2-2 : ユビキタス・ワーキング・システム利用案内
- 資料 2-3 : メンター制度に向けたメンター講習会実施計画
- 資料 3 : 女性研究者裾野拡大セミナー
- 資料 4-1 : 「男女共同参画国際シンポジウム」課題管理実施報告書
- 資料 4-2 : 「男女共同参画国際シンポジウム」アンケート概要
- 資料 5 : 第1回女性研究者交流会
- 資料 6 : 「出産・子育て・介護に関する制度」紹介パンフレット
- 参考資料 1 : 具体的施策「女性教員比率の向上」に関するデータ

5.山形大学の男女別教員数と女性割合

2010年10月1日現在の本学教員数（常勤）を男女別にまとめました。

男女計844人中、女性教員は112名（全体の13.3%）、

以下、職位別（表1と図1）と部局別（表2と図2）に男女の教員数と女性割合をまとめた。

表1 職位別女性教員の割合 2010/10/1現在

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男性	282	210	54	182	4	732
女性	21	28	13	49	1	112
計	303	238	67	231	5	844
女性割合	6.9%	11.8%	19.4%	21.2%	20.0%	13.3%

注.教員数には休職者等を含む。

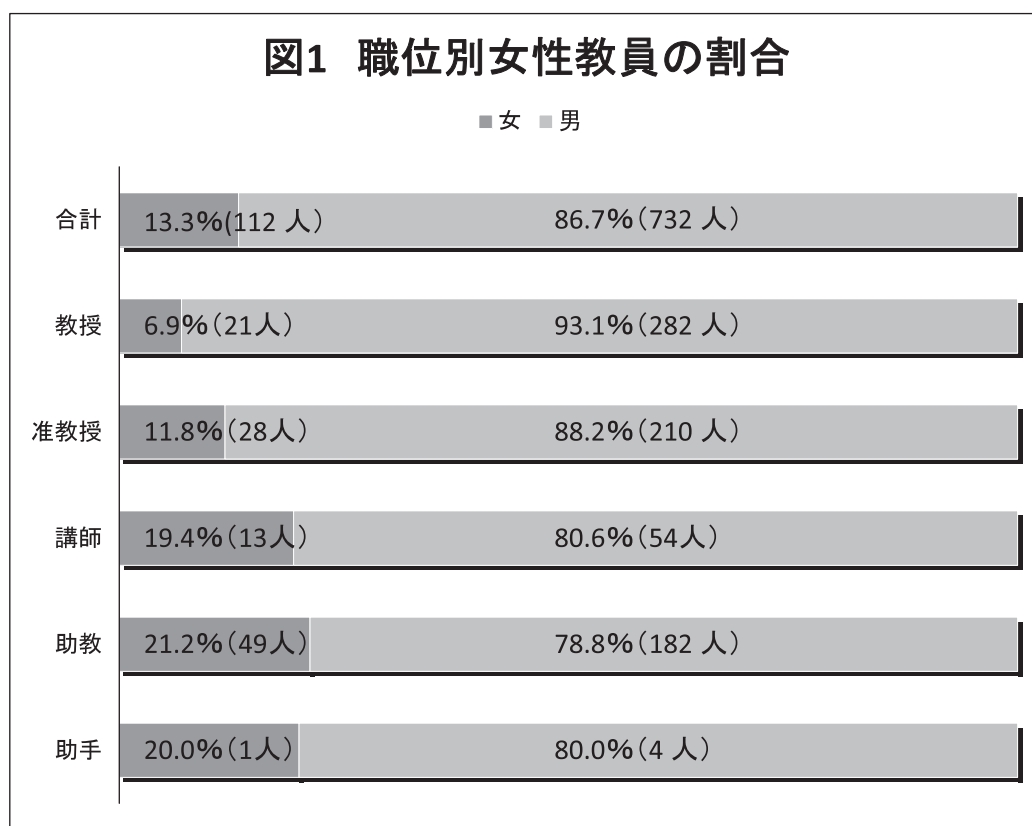


表2 部局別女性教員の割合

2010/10/1現在

	人文学部	地域教育文化学部 (注1)	理学部	医学部 (注2)	理工学研究科 (注3)	農学部	その他 (注4)	合計
男性	80	79	72	233	185	60	23	732
女性	12	15	3	66	6	4	6	112
計	92	94	75	299	191	64	29	844
女性割合	13.0%	16.0%	4.0%	22.1%	3.1%	6.3%	20.7%	13.3%

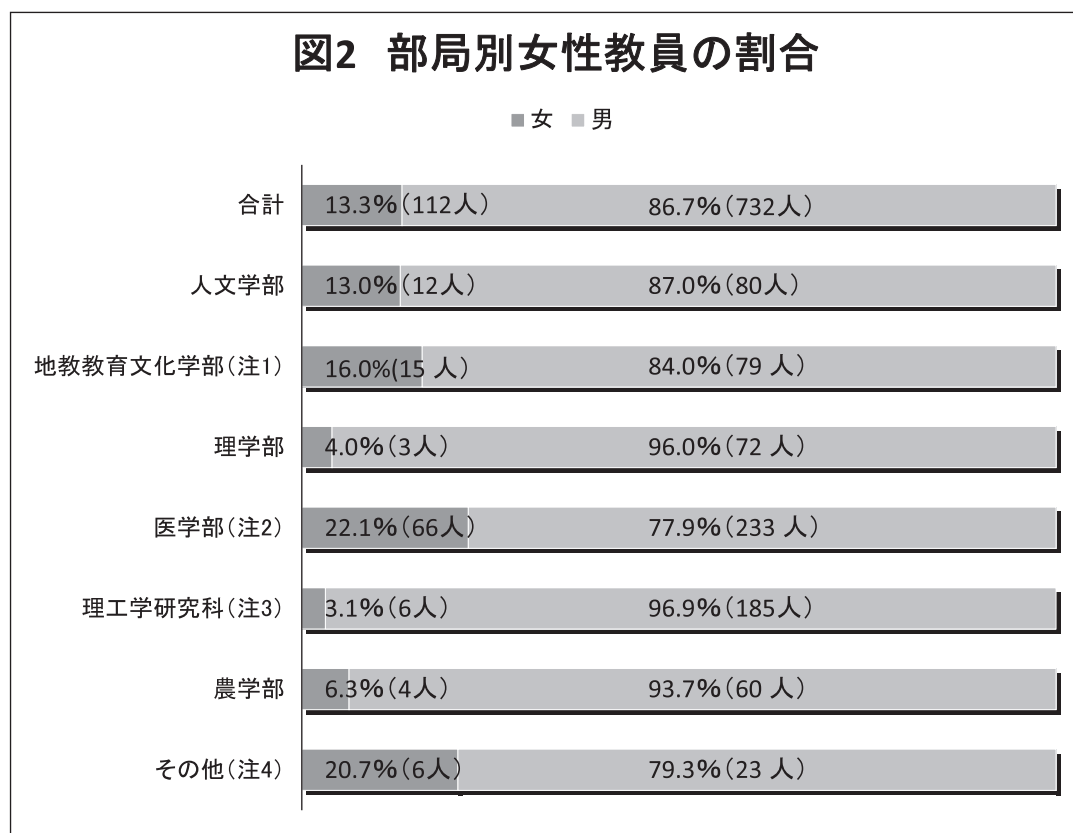
注1. 地域教育文化学部は、地域教育文化学部と大学院教育実践研究科を含む。

注2. 医学部は医学部、大学院医学系研究科、附属病院を含む。

注3. 工学部教員は理工学研究科に所属する。

注4. その他は基盤教育院、研究プロジェクト戦略室、評価分析室、エンロールメント・マネジメント室、
大学連携推進室、男女共同参画推進室、教育企画室、保健管理センターを含む。

注5. 教員数には休職者等を含む。



平成 22 年度文部科学省科学技術振興調整費
「女性研究者支援モデル育成」事業
「山形ワークライフバランス・イノベーション」

第 1 部 平成 22 年度報告書

2011 年 3 月発行

発行 山形大学男女共同参画推進室

連絡先 〒990-8560 山形市小白川町 1 丁目 4-12

Tel 023-628-4937,4938,4939 Fax:023-628-4014

URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

E-mail danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp